

大阪・豊中から塚本へ

大阪市立中央図書館に行った帰り、政権を揺るがす「話題の場所」を駆け足で回った。写真や映像で何度も見たが、やはり現地に実際に行ってみると、新たな発見がある。

難波から地下鉄・御堂筋線で「西中島南方」駅で降り、阪急・京都線で「十三」駅に。宝塚線に乗り換え、2つ目「庄内」駅で下車。地図を頼りに歩き10分ほどで、例の小学校が見えてきた。偶然にも、先日の国会で「爆弾質問」をした小池晃議員がマスコミに囲まれ、ちょうど立ち去るところに。グラウンドには土砂が山積みされていた。校舎の裏側に行くと、大勢のマスコミ関係者がカメラを構えていた。



「入学説明会」があるらしく、父兄を取材するためのようだ。ニュースやワイドショーなど、どんどん報道してほしい。安倍首相夫妻をはじめ、政治家の関与など真実を解明し、報道すべきことは多い。

豊中には大学院の頃、大阪空港騒音訴訟の調査にきたことがある。着陸態勢の大きな飛行機が、真上に見えた。空港や名神高速道路に近い。「庄内」もまちづくりの関係で聞いたことがある。「しょうない」と諦めることなく、「平成の疑獄事件」の解明が進むことを期待したい。

十三へ戻り、次に塚本幼稚園に向かう。駅を出て振り返ると、商店街のアーケードには「トミータウン」と書かれていた。思わず笑顔になり、疲れも和らいだ。北野高校を通過して、1本中に入ると、公園横に幼稚園が見えてきた。



狭い敷地であり、園庭らしきものは見えなかった。閉じられた門には、園児募集の掲示が。そこには「教育勅語」も書かれていた。ここで行われた安倍昭恵夫人の講演、「教育勅語」を口ずさむ園児たちの様子を思い浮かべながら、幼稚園をあとにした。

近くの淀川河川敷でひと休み。安倍政権を揺るがす現場の「駆け足視察」を振り返った。淀川の向こうに見えるのが、大阪駅前・梅田界わいのビル群である。



(2017年3月7日)